

意義ある業績賞について

意義ある業績賞委員会 委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)



ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、R I から「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区のガバナーは受賞クラブを選び、R I に選定を証明する手続きをとることになっています。地区レベルの競争であるため、また、その中から有意義なクラブ・プロジェクトを見極めるため、ガバナーが地区選考委員会を選出し、発表することが奨励されるとあります。本年度の第2660地区における選考基準及び手続きは次の通りです。(申請手続きについては2010年度「手続要覧」P105を参照)

■選考基準

本賞の受賞資格を有するのは、1つのクラブにより遂行された1件のクラブ・プロジェクトのみです。また、推薦できるのは、1地区につき1つのクラブのみです。既に意義ある業績賞を受賞したことのあるプロジェクトは、資格がありません。R I 意義ある業績賞に推薦するプロジェクトを選出する前に、以下の選考基準を満たしているかどうかをご確認ください。プロジェクトは以下を満たしていなければなりません。

- 地元地域社会の深刻な問題やニーズに取り組むものである (いかに意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格がありません)。
- 単なる金銭的奉仕ではなく、クラブ会員の大半または全員が、直接参加しているものである。
- クラブの規模、および利用可能な資源に釣り合ったものである。
- 地域社会におけるロータリーのイメージを向上させるものである。
- 他のロータリークラブの模範となりうるものである。
- 現在実施中、もしくは本賞が授与されるロータリー一年度中に完了するものである (ただし、現ロータリー一年度に開始されたものである必要はありません)。

■推奨推薦手続

以下は、意義ある業績賞を選考するにあたっての推奨選考手続です。

- 8月1日までに、本賞への応募の受理、および審査を行う地区選考委員会を地区ガバナーが選任し、告示する。地区ガバナーは、この委員会の職務上の委員となる。
- 地区ガバナーは、その月信で、選考基準(左記参照)と共に、この委員会に関する発表を行い、申請書を委員会委員長が受理する締切日を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手できるようにする。
- 地区選考委員会は、2月1日までに会合を開き、5つのプロジェクトまでを候補プロジェクトとして選び、これを3月1日までに届くよう地区ガバナーに提出する。
- 選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員会と協議の上、1つのプロジェクトを選定する。
- 地区ガバナーは、推薦するプロジェクトを、必要な書類と共に国際ロータリーに提出する。
- 提出締切日までに国際ロータリーが受理した推薦書式は、R I 選考委員会で審査される。締切日を過ぎて受理された推薦書式は、審査の対象とはならない。

当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2014年1月31日(金)とします。

R I に提出後、正式決定されると認定状が送付されます。

その後、例年通りガバナーが地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰いたします。